

# 厚生常任委員会活動レポート

開催日時：令和3年10月19日（火）

開催場所：1・2号委員会室

## 町立病院

### 1. 町立病院の管理運営について

令和3年8月末現在の患者数及び診療収入の状況について報告を受けました。

外来では延べ患者数が11,469人となり、コロナの影響による外来の診療制限をしながらも、前年実績（11,353人）を上回っています。

入院では一日平均患者数が100人を超え、前年実績平均（93人）を上回り、外来・入院ともに順調に推移しています。

診療収入（入院外来）においては、8月末で5億3,896万7千円、前年実績（4億9,981万7千円）を7.8%上回り、経営改革の成果が顕著に表れてきています。

外来案内表示システムと自動精算機導入について、当初は10月初旬導入を予定していたが、標準仕様での運用を院内で検討した結果、患者に迷惑をかけてしまうことが懸念されたことから、納期は遅れるが12月初旬の利用開始に向け進めているとの報告を受けました。導入後は外来の密を避けることができ、安心安全な診療が受けられ、院内に居なくてもSNS（ライン等）で通知を受けることが可能となります。

#### 【主な質疑内容】

委員：コロナ禍による病院経営の影響はどうですか？

担当：コロナ患者を7/12～9/12まで受け入れましたが、病床確保に対する補助金などがあり、病院経営として考えるとプラスの影響になっています。

委員：コロナの副反応で受診した住民が、副反応を診ることができないと言われたようですが、職員の意思疎通はどのようになっていますか？

担当：副反応は受診できなという対応の間違ひがありました。それぞれの症状に応じて外来で対応可能です。今後、意思疎通の周知徹底をしっかりとしていきます。

委員：急患で受診した場合、救急車の使用についてはどのように必要性が判断されますか？

担当：患者の容態や緊急性を踏まえ、医療行為を行う医師の判断になります。

## 町民生活部

### 1. 新型コロナウイルスへの対応について

中標津町の接種状況について報告を受けました。

- ・10月4日までの国公表値として、12歳以上の対象人口（20,600人）に対し2回目の接種率が87.79%、65歳以上においては2回目の接種率が95.37%。
- ・今後の一般接種スケジュールは、町立病院で満12歳到達者等を対象に（10/9.30、11/6.27、12/4.25：30名定員）行われる。

- ・定員が埋まり 11 月から、こどもクリニック個別接種・町立病院での集団接種の追加を検討中。
- ・3 回目の接種については、今のところ国から正式な通知はないが、事務連絡で追加接種は 2 回目接種を終了した者のうち、8 ヶ月以上経過した者を対象に行う。
  - ・早ければ 1 2 月から（医療従事者が先行で打っているため）
  - ・国から具体的な指示はないが準備を進めている。
  - ・高齢者においては 2 月 14 日以降の接種が想定されるため、今後計画していく。

#### 【主な質疑内容】

委員：3 回目の接種は、2 回目接種後 10 ヶ月や 1 年など延びても問題はないですか？

担当：8 ヶ月以上ということなので問題はありません。

委員：インフルエンザワクチンの周知についてはどのようになりますか？

担当：例年、高齢者については広報紙で周知しています。医療関係者によると、例年のとおり希望者は多いが、ワクチンが供給されるか不安があると聞いています。

## 2. 健康づくり推進事業について

「中標津町生きるを支える自殺対策行動計画」の中間報告として、本町の自殺統計について次のとおり説明を受けました。

- ・令和 2 年度の自殺者数は 5 名、自殺率（人口 10 万対）21.4 で全国（16.4）全道（17.6）と比較し高くなっている。
- ・令和 2 年より新型コロナウイルス感染症が広まってきているが、コロナの影響を受けて自殺者が出たかどうか原因まではわからない状況。
- ・当初 9 月に計画していたゲートキーパー養成講座を 1 月に延期したが、結果中止になる。
- ・代替手段として様々な相談窓口を掲載したチラシを広報紙に折り込み周知した。

委員：令和 3 年度の自殺者の状況は、まだわかりませんか？

担当：令和 3 年度においては、自殺という該当者はありません。

委員：過去の自殺者の年代や性別の内訳は把握していますか？資料提供を求めます。

担当：可能な範囲で遡り、後ほど提供します。

委員：チラシを折り込んだようですが、ホームページにも相談窓口の掲載はありますか？

担当：ホームページにも掲載しています。

## 総 務 部

### 1. 第 2 期中標津町まち・ひと・しごと創生総合戦略について

第 1 期中標津町まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証及び第 2 期中標津町まち・ひと・しごと創生総合戦略（修正案）について説明を受けました。

本町の人口の現状分析などで人口減少の要因として 3 点があげられている。

要因 1 未婚率の増加により出生数が低下している。

要因 2 中学・高校卒業後の進学のため 15～19 歳の男女の都市部への転出が非常に多い。

要因 3 女性は 20～24 歳の都市部（道内）・道外への転出が非常に多くなってきており U ターンも少ない。

委員：抽象論が多いと感じ、また具体的なプロジェクトの記載が少ないがどうでしょうか？

担当：具体性については、7期の総合計画の抜粋がメインであり細かい定義はしておりません。ただし特化対策として整理しています。

委員：この戦略の議会の関わり方についてはどのようになりますか？

担当：審議会にフィードバックしていきます。また、実現に向けた具体的な施策事業、令和4年度予算に向けてしっかり事務事業を積み上げていきます。